

(*)

M・Fさん(神戸市東灘区・38歳)からのご相談

高3の息子と、進路について
意見が食い違い、平行線。
どうしたらいいでしょう。

普通に大学受験をする予定だった息子が、いまになって「調理師学校に行く」と言い出しました。レストランでバイトして料理に目覚めたのだそうです。私も主人も「せめて大学に行つてからにしては？」とすすめています。確かに息子の人生ですが、後悔してほしくないのも親心。何かいいアドバイスを!

■古田博美さんからの回答

答えは必ずあなたの中にある!
真剣に考えることで、
それが見えてくるはずですよ。

M・Fさん、こんにちは。コーチのふたです。「コーチング」とは、効果的な質問や会話を通して、「問題点」や「現状」「自分の考え」「本当のゴール」などをはつきりさせ、その実現をサポートしていくものです。そこで、もしM・Fさんがこのテーマでコーチングを受けに来られたとしたら、まず私がするだろう質問をいくつか挙げてみました。それぞれの質問に対して、少し真剣に考えて、思いっぴく限り答えを書き出してみてください。できれば息子さんといっしょに考えられるのもいいですね。では、紙とペンを用意して、スタート!

- あなたは息子さんに、どんな人生を送ってほしいとっていますか?
- そのような人生を送るために必要なことは何でしょうか?
- では、もし息子さんが望むとおり調理師学校に行つたとしたら、いったい何が起ころうと思いますか?
- もし息子さんが、ご両親が言うとおりの

お答えいただいた方

福岡県生まれ。(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。朝日カルチャーセンター講師。会話を通して相手の能力を引き出し、目標実現をサポートする「コーチング」をベースに幅広く活動中。今春には、子育てサポートのためのサイト「子育てコーチングくらぶ<ダブルス>」www.kosodate-c.comを立ち上げ、ただいま会員募集中!



古田博美さん



大学に行つたとしたら、何が起ころうでしょうか?

- 次に、もし息子さんが調理師学校に行つたとしたら、息子さんにとって、どんなメリット&デメリットがありますか?
- もし息子さんが大学に行つたとしたら、息子さんにとって、どんなメリット&デメリットがあるのでしょうか?
- 最後に、ちょっと息子さんになりきってみてください。あるいは、あなたが息子さんと同じ年齢だったころを思い出してください。あなたは、このような場面で両親にどんな関わりをしてほしいと感じましたか?
- さあ、いかがだったでしょうか? やってみたい、何か気づくことはありましたか? それか、あなたの答えです。

読者のみなさんからM・Fさんへの回答

●私の娘も全く同じ状態でした。高3の夏休みに製菓の道に行きたいと言出し、私は「今まで受験勉強してきたし、大学生活はきつと役に立つ。製菓は大学後でも行けるのだから」と涙ながらに話し合いました。娘はしぶしぶ大学に進み、いま製菓の道に進んでいますが、「大学でいろんな成長があったから、いまも頑張れる。やっぱり大学に行つてよかった」と言っています。
(J・N/神戸市西区・50歳)

●わが家でもありました。親の意見には耳を傾けようとしませんでした。これを比べればこういう進路がある」というような説明を話したら納得。あとは本人が決めました。
(I・M/伊丹市・50歳)

●自分でやりたいことを見つけて進路を決めたのなら、ぜひ応援を!「せめて大学を」と言われますが、大学を出ても何の資格もないと就職は難しいのでは?
(K・S/明石市・49歳)

●最終的には本人の希望だと思いますが、お金を出す親の意見も伝えて、もう一度話すべき。
(M・I/宝塚市・48歳)

●本人の意志を尊重するのが最良だと思えます。ただし、フランスやイタリア料理の道なら大学でそれらの言葉や文化を学ぶこともできるし、調理師学校は大学卒業後、または夜間に勉強する方法もあることをアドバイスしてあげたらどうでしょうか?
(I・K/芦屋市・48歳)

●息子さんの意見をちゃんと聞いてあげて、家族でちゃんと話し合えば解決するはず。がんばって!
(C・M/伊丹市・31歳)



●進路は、お互いが冷静になって話し合いをよくすること。私もつい感情的になりましたが...。本人の希望通りに進んで良かったのか悪かったのかは、ずいっと後になってわかることだと思います。
(K・S/神戸市西区・47歳)

●うちもまったく同じ! 進学するものだと思っていたのに突然就職と言出し、そのまま会社員になりました。でも自分で決めたことだからと愚痴は一切言わず、まじめに働いているのを見ると、これでよかったのだと思つていきます。
(H・K/加古川市・53歳)

●ステキな息子さんですね。自分の夢を持つてるなんて!! 学歴にこだわるのは親のエゴイズムだと、子どもが受験に失敗して気づきました。息子さんを応援してあげてください。
(A・M/佐用郡・45歳)